

地域とともに歩み

歴史を刻んで1世紀



美留和小学校(梅津和広校長)が開校100周年を迎えました
地域の熱意で開校し、地域の愛情に包まれ
地域とともに歩んできた全校児童7人の小さな学校は
大きな節目を歴史の1ページに刻み
新たなスタートを切りました。

美留和小学校開校100周年

気高き摩周の 峯仰ぎ
歌調も高く うそぶけば
希望に燃えて 健けく
豊かに育つと こだまする
あゝ我が母校よ 栄光あれ

北斗の光 澄みわたる
拓土に挑む 父母も
つきぬ教訓の 鐘の音に
昔を偲び 師を慕う
あゝ我が母校よ 栄光あれ

五つの目標 一筋に
胸に結べる 校章の
緑変わらぬ 石楠花は
われら児童の 道しるべ
あゝ我が母校よ 栄光あれ

美留和小学校 校歌
佐藤 紀悦 作詞
赤塚 栄吾 作曲





記念事業協賛会からの記念品を受け取り、お祝いに駆け付けたたくさんの人を前にお礼を述べる児童



同窓会から贈られた記念碑



歴代の校長に感謝状



多彩な発表がいっぱいの学芸会(上・下)



道徳で習った「相田みつを」の詩を引用しながら感謝の呼び掛け



タイムカプセル 開封は20年後



期待とともに記念碑の除幕



タイムカプセル埋設を終えて



式典であいさつする
児童会長の八幡彩未さん

100周年を迎える時に在校生ということ
は、なりたくてなれるものではないのでうれ
しいです。

わたしの祖父も父も美留和小学校の卒業生
です。祖父は、現在よりも2kmほど弟子屈寄
りにあった2代目の校舎に通っていました。当
時は4クラスあり、体育館はなかったそう
です。その後、3代目の校舎に移り、父もその
校舎に通いました。わたしは現在、平成元年に
完成した4代目の校舎に通っています。

昔は先生が怖くて、すぐにゲンコツやチ
ョークが飛んできたそうです。家が遠くても
みんな歩いて通い、道路は砂利道だったため、
春先はドロドロだったそうです。給食の粉ミ
ルクはとてもまずかったと、祖父が言ってい
ました。昔と比べると、わたしはとても恵ま
れていると思います。

美留和小学校は、いろいろな活動を地域
の方と一緒にしています。とても楽しいし、勉
強になります。

わたしは美留和小魂「何事も決して最後
まで諦めないこと」「思いやりがあること」「汗
して働くこと」を誇りに思っています。

10年後、20年後、50年後に「美留和が
ふるさと」と胸を張って言えるよう、立派な
大人になりたいです。そして、美留和小、
美留和でよかったという誇りを持って生き
ていきたいです。

式典の「児童の言葉」より一部抜粋

地域に根ざした 特色ある教育

美留和小学校は1912(大正元
年、美留和簡易教育所として開校。
1914(大正3)年に美留和尋常学
校となりました。当時、地域に入植
した方々の生活は厳しいものでし
たが、子どもの教育に対する熱意は
並々ならぬものがあり、学校開設へ
とつながったといえます。

これまでに同校を巣立った卒業
生は1千76人。各分野で活躍してい
ます。

校舎は、1933(昭和8)年、19
57(昭和32)年、1989(平成元
年と3度の改築・新築移転を重ねて
現在が4代目の校舎です。現在の校
舎が完成した1989年は、開校77
周年の節目の年でもありました。

地域の温かさに支えられて歴史
を刻んできたのが同校の特徴で、現
在も地域と密接な関わりを持ちな
がら特徴的な教育が行われていま
す。例えば運動会。学校独自のもの
ではなく、地域と合同で「美留和大運
動会」として開催されています。また、
PTAに賛助会員制度を導入し、会
員(保護者と教職員)以外の方も、賛
助会員として学校をバックアップ
しています。さらに、総合的な学習
の時間や部活動などで地域の方が
講師を務めるなど、学校・家庭・地域
が一体となった教育と子育てが行

われています。

100周年のお祝いも 地域が中心となって

開校100周年記念のさまざまな
行事の中心になったのも、地域の
皆さんでした。

100周年の記念事業・行事を担
ってきたのが「美留和小学校開校
100周年記念事業協賛会」。地域・
PTA会員と賛助会員・同窓生など
が集まって組織されました。昨年
の5月に設立されたこの協賛会によ
り、記念式典・祝賀会の開催、記念誌
の発行などが行われました。

趣向を凝らして 100周年を祝う

美留和小学校開校100周年記
念式典・祝賀会同記念事業協賛会主
催が9月30日、同校で行われました。
式典には、児童・教職員と卒業生、
地域の皆さんなど約130人が出
席。歴史を振り返るとともに、節目
を祝いました。

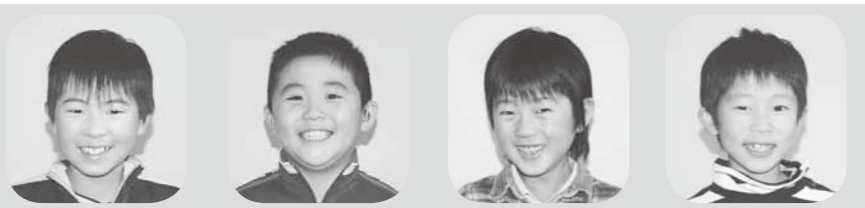
式典では、記念事業協賛会の芳賀
正美会長が「本校開設以来の精神を
現在に生かし、次代を担う子どもた
ちにつないでいく。歴史と伝統を受
け継ぎ、一人一人の子どもが夢と目
標に向かって歩んでいけるよう努
力したい」とあいさつ。梅津校長は

言葉を述べました。

また、90周年記念式典以降に在籍
した歴代の校長に感謝状が、学校と
児童に記念事業協賛会からの記念
品が贈られたほか、記念碑の除幕式
も行われました。

「学校・保護者・児童が一体となつて
大きなことに取り組むという、本校
ならではの教育ができることが誇
り。100周年は新たな出発点。こ
れからも『創造・充実・発展』に向か
つて努力していきたい」と、さらなる飛
躍を誓いました。

児童の発表では、全校児童7人が
同校の歴史を紹介する呼び掛けを
披露。「過去からこれまでにいた、た
くさんの方のおかげです」と感謝の



3年 藤井直太郎君
生き物が好きなので、動物や虫がたくさんいる学校になってほしいです。

2年 北林聖也君
校舎がきれいで楽しい学校で、みんなで勉強や遊びができたらいいです。

1年 橋田明君
今のまま、自然豊かな学校でいてほしいです。森や木や川が好きです。

1年 南雲空君
お友達がたくさん入って、学校がずっと続いていけばいいなと思います。

将来 こんな学校になったらいいな



梅津和広 校長
いつまでもみんなに愛され、輝き続ける学校であってほしいです。

6年 八幡彩未さん
仲のよい学校です。児童が増えて、もっと仲良しの学校になってほしいです。

6年 阿部実央子さん
いろいろなクラブができたらいいです。あと、漫画コーナーも欲しいです。

4年 阿部宏紀君
現在のように元気な児童がいて、そして立派な学校になってほしいです。